

平成25年1月1日
第48号

厚生連だより

かみつが

発行
 上郡厚生農業協同組合連合会
 上郡総合病院
 老人保健施設かみつが

編集
 上郡総合病院年報等編集委員会
 〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
 TEL 0289-64-2161



上郡総合病院
災害派遣医療チーム
DMAT

新年のご挨拶

上郡厚生農業協同組合連合会
代表理事会長 黒本 一郎



平成25年の新春を迎え心よりお喜び申し上げます。

会員J.A並びに関係機関の皆様には、日頃から厚生連の医療・保健・福祉事業運営にあたりまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご存じのとおり、上郡総合病院は新病院建設中であり、一期工事は順調に進んでおります。3月29日に完成し、4月20～22日に引越を実施します。入院は22日から、外来は23日から稼働予定です。

二期工事は、平成26年10月に開院予定です。古い病棟を壊して、駐車場にする解体・外構工事は平成27年5月完成予定です。皆様には、何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますがご理解、ご協力をお願い致します。

がん診療連携拠点病院としての機能向上のため、放射線治療装置(リニアック)を3億1400万円かけて昨年12月に更新整備致しました。県西医療圏におけるがん診療の

中心的な役割を担い、確実にその使命を果たしてまいります。

さて、団塊世代が75歳以上の後期高齢者となる平成37年に向けて、今後ますます医療や介護の需要増大が見込まれます。医療も介護も、滞在型も通いのサービスも提供する老人保健施設かみつがに対する期待はますます大きくなつてくると思います。明るく安心でできる高齢社会実現に向けて前進してまいりたいと考えております。

新医師臨床研修制度に端を発した医師の地域間、診療科間偏在による医師不足、入院基本料7対1看護配置による慢性的な看護師不足、消費税増税、病医院の診療縮小、休止、閉院が続出した地域医療崩壊等々、非常に厳しい経営環境の中で、役員員一体となり、上郡総合病院、老人保健施設かみつが、訪問看護ステーションひばり、在宅介護支援センターかみつが、鹿沼中央地域包括支援センターの健全経営を目指してまいります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様におかれまして最良の年でありませう、ご祈念申し上げ新春のご挨拶と致します。

2013年 新年を迎えて

上都賀総合病院

病院長 十川 康弘



みなさまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。病院新築工事は第一期工事が順調に進み、全体の半分が完成し、いよいよ平成25年4月23日より診療を開始いたします。ほますべての外来と病棟の半分を移転します。アメニティーの改善とともにより良い医療サービスの提供につながると考えております。新棟では電子化とセキュリティを強化いたします。ご不便な面があるかと思いますが、安心できる入院環境の確保のため御理解よろしくお願いいたします。残り半分の西棟は平成26年の夏に完成する予定です。それまでは旧病棟の使用を続けますので、一部の利用者の方にはご迷惑をおかけいたしますがご容赦のほどお願いいたします。

病院の装備については、放射線治療装置を更新しました。県内でも抜きん出た治療能力を確保いたしました。今後さらに、CT、MRI、RI、血管撮影装置を順次更新してまいります。地域で必要とされ続ける病院になりたいと考えています。

どうぞご期待と応援のほどよろしく申し上げます。

新年の挨拶

老人保健施設かみつが

施設長 須田 啓一



明けましておめでとうございます。昨年は、老人保健施設かみつがおよびその関連事業所に沢山のご支援ご協力を賜り、ありがとうございました。お陰さまで多くの方々にご利用いただき、心より感謝申し上げます。

昨年は介護報酬が3年ぶりに改定され、2025年の超高齢社会を見据えた「地域包括ケア」の考え方が全面的に押し出されてきました。どのような疾患、障害を抱えても在宅で支えて行くという考えに基づき、在宅復帰を目指す流れがあり、職員もそれに向けて努力しています。しかし、在宅復帰の望めない利用者も大勢いることも事実で、如何に身体機能を維持しつつ施設で楽しく暮らしていかれるかも重要な課題と考えています。

昨年から始めた認知症についての地域への啓蒙活動をはじめ、今年も様々な課題に取り組み、ケアの向上を目指していきます。

今年も引き続きご支援ご指導下さいますようよろしくお願い申し上げます。

放射線治療とは

放射線科 院長 金親 克彦



放射線治療とはX線や電子線等の放射線を腫瘍に照射しがん細胞を死滅させて、腫瘍を縮小・消滅させる治療法です。細胞分裂を無制限に繰り返すがん細胞が正常組織の細胞と比べ放射線に対する感受性が高い性質を利用して照射します。放射線治療は体外から照射する外照射と小線源を体内に入れて照射する内照射に大別され、外照射が最も多く行われています。何れも非侵襲で、臓器の形態と機能を温存することが可能ながん治療法です。

また、放射線治療は目的別に根治的照射、術前・術中・術後照射、緩和的照射に分類されます。このうち、根治的照射は根治を目的とした治療法で、主に遠隔転移の無いがんを対象としています。近年では抗癌剤と併用した根治的照射が増えています。根治的

照射では頭頸部腫瘍や前立腺癌、子宮がん、リンパ腫など数多くのがんが対象となっています。一方、術前照射は術前に腫瘍を縮小して手術を容易にすることを目的にしています。術中・術後照射は病巣周囲の微小ながん細胞を死滅させることにより、再発を防止する目的で行われます。また、緩和的照射は転移性病変等の切除不可能な病変を対象とし、がんによって生じるさまざまな症状を緩和することによりがん患者の生活の質(Quality of Life)の向上に寄与することが出来ます。

実際には、診察後にCTシユミレーターやX線シユミレーターを用いて放射線を照射する範囲(照射野)や方向を決定します。これを治療計画といいます。次に治療計画に基づいて皮膚や固定具にインクでマーキングを行います。初回の照射ではマーキングした領域と治療計画の照射野が一致するかどうかを確認します。このため、初回の照射は多少時間がかかりますが、2回目以降の照射は10〜15分程度で済みます。実際に放射線が照射されるのは5分程度です。照射中に痛みや痒みは生じません。照射する回数には疾患によって異なりますが、通常は1日1回、週5回

の照射を数回〜40回程度行います。

放射線治療では組織線量を最小限に抑え、腫瘍に対して正確に線量を与えることが重要です。近年の技術的進歩によってがん病巣を正確に狙い撃ちする高精度の画像誘導放射線治療が可能となり、より少ない副作用で高い治療率をあげることが可能になりました。

当院では平成6年3月に放射線治療装置を導入しましたが、装置の老朽化に伴い、装置を更新することになりました。そこで、IGRT社製の最新式放射線治療装置 Synergy®を導入し、本年1月より稼動しました。回転照射や多門照射法などをはじめ、イメージガイド下放射線治療を行うことができ、安全かつ効率的に治療を行うことが出来ます。

当院では週1回、千葉大学医学部附属病院放射線科宇野隆教授(放射線科治療専門医)による外来診療、治療計画を行っております。外来診療日は原則として水曜日午前中です。今後も当院の医療の質の向上を目指し、平成22年より指定された地域がん診療連携拠点病院として鹿沼市及び周辺地域のがん診療に貢献していきたいと思っております。

放射線治療装置(リニアック)を
更新しました

このたび、上都賀総合病院では、最新の高精度放射線治療装置のElekta Synergy（エレクタシナジー）と位置決め装置にX線シミュレータと大開口径CT装置AquilionLB（アクイリオン）同室システムを導入いたしました。（臨床は平成25年1月開始予定）

放射線治療はがんの治療法のなかでも、「身体に優しい治療法」として、近年重要性がますます高まっております。

今回の治療システムの更新により、放射線治療の精度が大幅に増加いたします。

エレクタシナジーの特徴としては、高精度放射線治療と言われているIGRT（イメージガイド放射線治療）が可能となります。治療装置で3次元のCT画像を撮影することができるようになり、今まで困難だった臓器の軟部組織も3Dで画像化することで、正確な病巣部位を立体的に評価できるようになり、できるだけ放射線をかけたくない部位を避けながら治療を行うことができるようになります。

その結果、治療成績の向上以上に、放射線治療による副作用や合併症の大幅な減少が期待できます。また、出力X線エネルギーは3種類から選択でき、5種類



大開口径CT装置
アクイリオン

高精度放射線治療装置
エレクタシナジー

の電子線エネルギーで幅広い症例に適応ができるので、患者毎に合わせた最適な放射線治療が受けられます。（従来は、X線2種類のみ）

また、一緒に導入した位置決め用装置は、X線シミュレータと大開口径CT装置を同じ部屋に設置したシステムで、X線シミュレータによる2Dイメージ透視撮影での治療計画とCTベースでの3次元での治療計画が行えます。2Dイメージ透視撮影と3次元計画を組み合わせたことで、より高度な治療計画が行えます。さらに、大開口径CT装置は、治療用固定具等を装着したまま撮影することが可能で、治療時と同じ体位でCT撮影が行えるため、治療計画時の精度向上につながります。

— 基本理念 —

— 地域社会への貢献 —

私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

— 基本方針 —

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

— 患者さんの権利と責任 —

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の人権が尊重され、プライバシーが保たれる権利
- 一、病気・検査・治療・見直しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択を尊重される権利
- 一、私たちと一緒に病気を治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと

放射線科外来のご案内

診察日…毎週水曜日
受付…午前8時～11時30分
※診察の際には、紹介状が必ず必要となります。

尚、詳細等の問合せは、放射線科までお願い致します。

新病院建設に関する重要なお知らせ

新病院 I 期工事部分が平成25年3月29日に完成します

※新病院 II 期工事部分の建設工事を引き続き実施致します

～I期工事部分完成後のスケジュール(予定)～

- 4月20日(土) 休診 (引越し作業)
- 4月21日(日) 休診 (引越し作業)
- 4月22日(月) 休診 (引越し作業)

引越し完了後、入院診療開始
午後、一部の外来(予約)診療のみ実施

4月23日(火) 外来診療開始

※都合により予定が一部変更になる場合があります。
※ご不明な点及び詳細については、各科窓口にてご確認いただきますようお願い申し上げます。

I 期工事部分の養生シートが撤去されました

新病院建設に際しまして、JA組合員ならびに地域住民のみなさまには格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。おかげさまでI期工事部分が、平成25年3月29日(金)に完成し、4月22日(月)の午後より一部の病棟、4月23日(火)より外来部門(一部を除く)が、新病院(現在の敷地内)へ移動することになりました。つきましては、診療部門の移動のための引越し作業に伴い、4月20日(土)と4月22日(月)の通常の外来診療が休診となりますので、ご承知いただきますようお願い申し上げます。ご不便をおかけして大変申し訳ございませんが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

病院長 十川 康弘

職場紹介

診療部 栄養科

栄養科は栄養係7名、調理係20名、事務係1名(パート職員15名含む)の総勢28名で構成されています。

業務は、主に入院患者様の給食管理業務と栄養管理業務、そして外来・入院患者様及びご家族を対象とした栄養指導です。入院患者様の食事は、治療の一環であるとともに楽しみの一つです。四季折々の食材を使用した行事食や週3回の選択メニュー・地域の食材を使用した地産地消の取り組みを行い、満足して頂ける食事の提供を目指しています。病気の為どうしても病院の食事が摂れない患者様には、通常の食事とは別に27種類の単品メニューを準備し、食べたいと思うものを選んで頂けるように「ほっと食(ほっとした気持ちになるよう、心が温まる食事になるように命名しました)」を導入し好評を得ています。また、患者様ひとりひとりの栄養状態を身体状況、生化学検査値や喫食量により評価し、状況に合った食事の提案・提供を行っています。栄養指導は個別・集団で実施しており、外来継続栄養指導では診察日に合わせて行うことで、患者様が食事療法を継続しやすい環境を整えています。これからも食を通して



て治療に貢献するよう努めています。と思っています。

一般外来診療表

Table with 3 columns: 診療科目 (Department), 受付時間 (Reception Time), 備考 (Remarks). Lists various departments like Internal Medicine, Neurology, Pediatrics, etc., with their respective hours and special notes.

専門外来診療表

Table with 4 columns: 診療内容 (Department/Service), 担当診療科 (Responsible Dept), 曜日 (Day), 受付時間 (Reception Time). Lists specialized services like Rheumatology, Diabetes, Respiratory, etc.

※診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。

医師・看護師(保健師・助産師・准看護師)奨学生募集

～ あなたの「学びたい」をサポートします ～
当院には、医学生・看護学生のみなさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。奨学金の返済については、卒業後当院にて医師・看護師(貸与対象職種)として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。奨学金制度に興味・関心がある方は、随時ご相談に応じますので、下記までお気軽にお問合せ下さい。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
かみつが厚生連 上都賀総合病院
担当：総務課(2502)
TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468
E-mail : soumu@kamituga-hp.or.jp URL : http://www.kamituga-hp.or.jp

当院メディカルサポートセンターでは医療ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が医療・福祉・介護に関するご相談をおうけしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

新年おめでとうございます。今年三月には新病院の第一期工事が完成し、病院の半分が移動することになっています。当院にとっては、念願の新しい一年の幕開けです。
当院は、地域の皆様の健康を守るセイフティネットの強力な一翼を担うため総合病院のハードとソフトの整備を進めています。若い人からお年寄りまで、身体と精神の両面から、皆様の健康増進、病気治療とリハビリ、終末期ケアなどの医療サービスを提供できるように提供できることを目指しています。
今年も組合員の皆様に役立つ紙面作りには広報委員一同努力したいと思っています。

編集後記

(衛藤)